

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

科目タイトル	化学物質総合評価管理学ケーススタディー1		
科目概要	PCB、有機水銀、臭素系難燃剤、塗料、内分泌攪乱物質、食品添加物など、限られた地域の公害問題ではなく広く消費者及び環境へ影響する化学物質を例に、問題の発生から企業及び社会の対応の仕方を学び、リスク管理のあり方を理解する。		
	共催機関名: 化学生物総合管理学会	レベル: [専門・中級]	講義枠: 土 14:00-15:30、15:50-17:20

サブタイトル	No.	講義タイトル	講義概要	講義日	講師名	所属
PCB	1	ケーススタディ(1)PCB	化審法制定のきっかけとなった事件で、法制化にいたった当時の社会背景とリスク削減対策としての役割を解説する。加えてPCBによる汚染の状況、廃棄物問題の現状を解説する。	12/4 14:00-15:30	横山泰一	製品評価技術基盤機構
	2	ケーススタディ(2)PCB		12/4 15:50-17:20		
有機水銀	3	ケーススタディ(3)有機水銀問題	水俣病の発生からソーダ工業界への波及及び水銀法から非水銀法への転換の経緯を解説し化学物質に対する日頃の対応及び事件が起こった場合の対応について考える。	12/11 14:00-15:30	相川洋明	日本リフォーム
	4	ケーススタディ(4)有機水銀問題		12/11 15:50-17:20		
塗料	5	ケーススタディ(5)塗料(1)	塗料の役割と効用、塗料の構成成分と製法および塗膜形成方法、塗料のライフサイクル(製造～塗装～廃却)におけるリスクについて解説する。	12/18 14:00-15:30	浦野 哲	日本ペイント株式会社
	6	ケーススタディ(6)塗料(2)		12/18 15:50-17:20		
臭素系難燃剤	7	ケーススタディ(7)臭素系難燃剤	臭素系難燃剤環境問題の発生からWEEE で全面使用禁止のドラフトが提案されるまでの経緯を学び、火災安全性と環境問題についてリスクと便益について考える。	1/8 14:00-15:30	横山泰一	製品評価技術基盤機構
	8	ケーススタディ(8)臭素系難燃剤		1/8 15:50-17:20		
内分泌攪乱物質	9	ケーススタディ(9)環境ホルモン問題	環境ホルモン問題では、何が問題となりどう騒がれたか説明する。	1/22 14:00-15:30	西川洋三	製品評価技術基盤機構
	10	ケーススタディ(10)環境ホルモン問題		1/22 15:50-17:20		
食品添加物	11	ケーススタディ(11)食品添加物(1)	食品添加物とは何かを解説する。食品衛生法並びに施行令、施行規則からの食品添加物品目リスト、海外の食品添加物規制の概要を解説する。	1/29 14:00-15:30	山田隆	食品添加物協会
	12	ケーススタディ(12)食品添加物(2)		1/29 15:50-17:20		